

平成30年 9月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～

★9月の星空案内

暦の上では秋になりましたが、頭上から西の空は、まだまだ夏の星座たちが見えています。夏の星座探しは、ちょうど頭の真上あたりで、ひとときわ白く輝く星から始まります。この星が、七夕の話に登場する“織り姫星”、こと座の1等星ベガです。そして、天の川をはさんで反対側、ベガからやや南東で輝く星が“彦星”、わし座の1等星アルタイルです。ベガから北東に目を移すと、はくちょう座の1等星デネブが輝いています。このベガ、アルタイル、デネブを結ぶと、“夏の大三角”ができ、夏の星座探しのよい案内役となります。また東の空高いところには、腕を伸ばしたときの握り拳より一回り大きい四角形の星の並びが見えます。これを“秋の四辺形”と呼んでいます。ここには、ペガサス座があります。秋の四辺形の右側の辺を下に延ばしていくと、南東の空の低いところに秋の星座の中で唯一の1等星、みなみのうお座のフォーマルハウトが見つかります。

夏と秋の星座を探しながら、季節の移り変わりを感じてみてはいかがでしょうか。

< 現在見える惑星 >

| | |
|------------------------|---------------------|
| 水星(-1.3等前後):しし座→おとめ座付近 | 観測に適さない。 |
| 金星(-4.5等前後):おとめ座付近 | 日没後、西の低空でひととき明るく輝く。 |
| 火星(-1.6等前後):やぎ座付近 | 21時頃、南の空で赤く明るく輝く。 |
| 木星(-1.8等前後):てんびん座付近 | 日没後、南西の空で明るく輝く。 |
| 土星(0.4等前後):いて座付近 | 21時頃、南南西～南西の空で輝く。 |

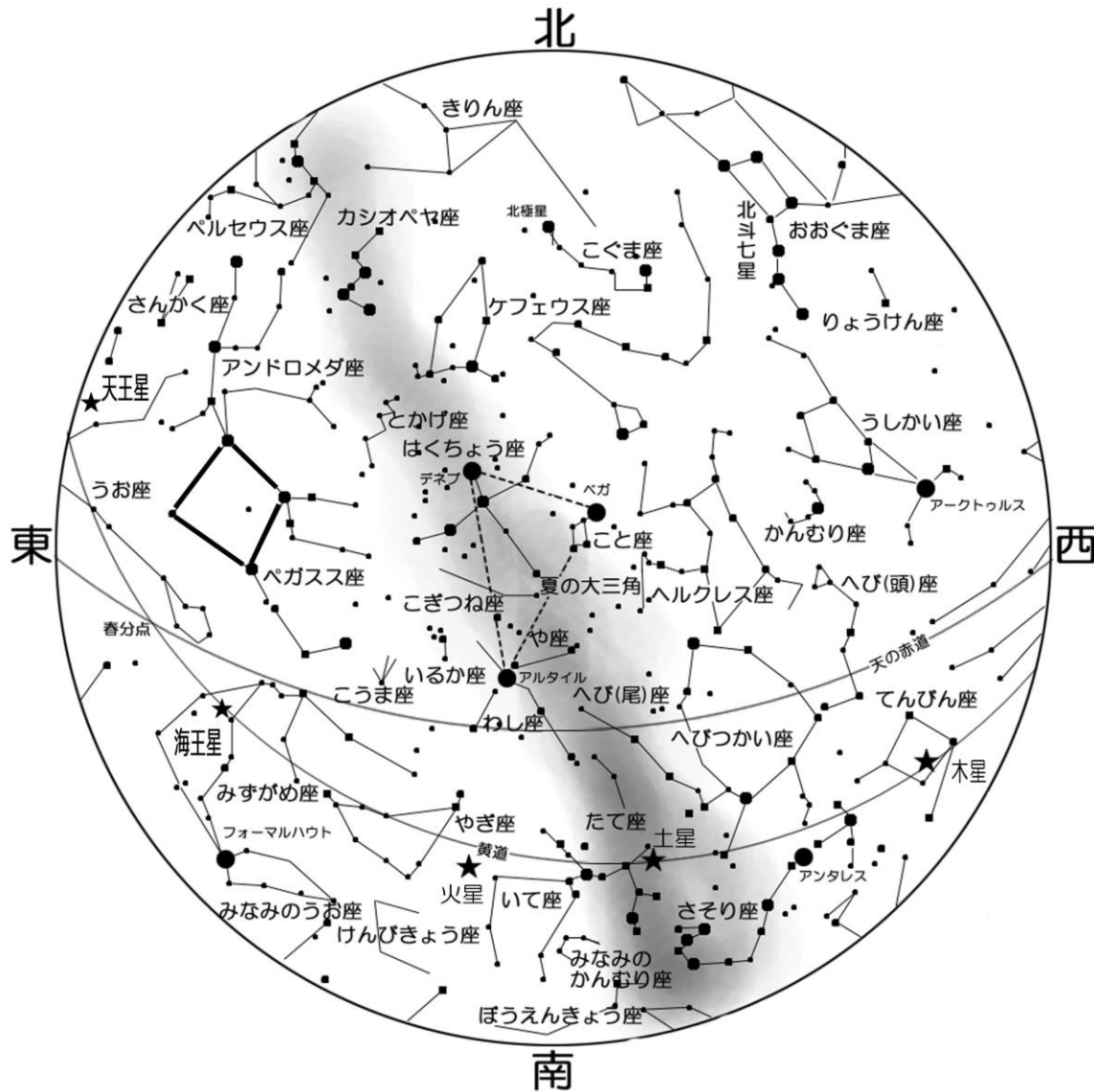
注目の天文現象 ～中秋の名月を楽しもう！～

秋の夜空を楽しむ行事といえば、十五夜のお月見です。十五夜とは新月から15日目の夜のことで、十五夜のお月見の時には、満月が見られると思われている方も多いのではないのでしょうか。しかし十五夜の月は、必ず満月というわけではなく、満月、または満月に近い形をしています。

十五夜の月は一年間に12～13回見ることができますが、旧暦(昔のカレンダー)の8月15日の月は特に「中秋の名月」と呼ばれています。旧暦の8月15日は、今年の9月24日にあたります。この時期は空気も澄んで月がはっきりと見えることから、お月見に適しているのです。

美しく輝く月を眺めるのもお月見の楽しみですが、秋の夜長には月の色にも注目してみてください。空気が澄んでいる夜、月は高度によって色が変化して見えます。大気による光の散乱のため、空の低いところでは赤やオレンジ色、高くなるにつれて黄色っぽくなり、やがて白っぽく見えるようになります。

秋の心地よい夜風に吹かれながら、変わりゆく月の色をゆっくりと楽しまれてはいかがでしょうか。



| 日 | 曜 | 天文現象 | 日 | 曜 | 天文現象 |
|----|---|----------------------|----|---|-----------------------|
| 3 | 月 | ☾ 下弦 (11:37) | 21 | 金 | 金星が最大光度 -4.6等 (21:43) |
| 8 | 土 | 海王星が衝: 観望の好期 (13:32) | 23 | 日 | 秋分 (10:54) |
| 10 | 月 | ● 新月 (03:01) | 24 | 月 | 中秋の名月 |
| 17 | 月 | ☾ 上弦 (08:15) | 25 | 火 | ○ 満月 (11:52) |